

原田病院外来診察担当表 (2026年5月1日～)

●診察時間:午前9時～12時 午後4時～6時 ●受付時間:午前8時30分～12時 午後3時30分～6時

☆当院では待ち時間短縮のため午前中の診察は予約制となっております☆

□一般内科外来 □糖尿病外来 □泌尿器科外来 □整形外科外来 □慢性腎臓病(CKD)外来 □腹膜透析(PD)外来

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前 外来	1診	山下(和)	山下(秀)	重本	西澤	荒川	重本
	2診	土井俊樹	西澤	沖本	森井	山下(秀)	山下(和)
	3診	佐々木	大下	土井俊樹	-	大下	佐々木
	4診 DM	田中	小林(貴)	藤原	向井	向井	佐川(純)
	5診	安達	佐川(俊)(初診)	田中	小林(貴)	佐味	(第1-3-5週目)/(第2-4週目) 土井俊郎/岡野
	6診 初診	渡邊	岡本	藤田(綾)	藤原	安藤	沖本
	7診	血液内科 藤井	藤田(潔)	藤田(潔)	藤田(潔)	藤田(潔)	広大
	8診	-	-	-	-	-	佐川(俊)(初診)
午後 外来	1診	15:30~16:00(予約)/16:00~18:00 佐川(俊)	15:30~16:00(予約)/16:00~18:00 渡邊	15:00~16:00(PD)/16:00~18:00 土井俊樹	15:30~16:00(予約)/16:00~18:00 安藤	15:30~16:00(予約)/16:00~18:00 藤田(綾)	15:30~16:00(予約)/16:00~18:00 佐味
	2診	15:00~18:00 呼吸器 濱田	14:00~18:00 呼吸器 宮本	15:30~18:00(予約)/16:00~18:00 岡本	14:00~16:00 西澤・佐味	15:00~17:00(不定期) 呼吸器 濱田	-
	3診	14:00~17:00(第1-3週目) 循環器 橋本	14:30~16:00 西澤	13:30~17:00(第2-4週目) 血液内科 進藤	14:00~17:00 循環器 広川	-	15:00~17:30 森井
	4診	-	14:30~16:30(第2-4週目) 循環器 中野	-	-	14:00~16:00 特定健診/DM 藤原	-
	5診	14:30~17:30 広大医師	14:00~17:00 広大医師	14:00~16:00 フットケア 藤原	14:30~17:30 広大医師	-	-
	7診	-	13:30~16:30 リウマチ・膠原病 重政	13:30~16:30 リウマチ・膠原病 大本	14:00~16:00 フットケア 藤原	13:30~16:30 リウマチ・膠原病 茂久田	-
	8診	-	14:30~15:00/12:00~13:30 HHD 西澤/移植センター 礼場	-	-	12:00~13:30 移植センター外来 礼場	-

※手術・救急・学会などにより担当医が予告なく変更になることがあります。

一陽会

原田病院 院長 山下 和臣
〒731-5134 広島市佐伯区海老山町7番10号
TEL 082-923-5161 FAX 082-921-8035

一陽会クリニック 院長 荒川 哲次
〒731-5133 広島市佐伯区旭園10番3号
TEL 082-924-0033 FAX 082-924-0037

イーストクリニック 院長 加藤 隆子
〒732-0814 広島市南区段原南1丁目3番53号 広島イーストビル6F
TEL 082-506-0123 FAX 082-567-7115

横川クリニック 院長 内藤 隆之
〒733-0011 広島市西区横川町2丁目7番19号 横川メディカルプラザ3F
TEL 082-231-0111 FAX 082-231-0155

グランホームあさひ 施設長 三上 夕子
デイサービス楽々園 所長 見土 裕崇
〒731-5133 広島市佐伯区旭園9番31号
TEL 082-943-7773 (グランホームあさひ)
TEL 082-943-8585 (デイサービス楽々園) FAX 082-943-8600 (共通)

クローバー訪問看護ステーション 所長 木村 美智代
クローバー居宅介護支援事業所 所長代行 原田 和恵
〒731-5134 広島市佐伯区海老山町7番10号(原田病院内)
TEL 082-925-6222 (訪問看護)
TEL 082-925-6221 (居宅介護) FAX 082-925-6223 (共通)

ケアレジデンス楽々園 施設長代行 東 欣子
クローバーヘルパーステーション 所長代行 東 欣子
〒731-5136 広島市佐伯区楽々園3丁目14番3号
TEL 082-943-8686 (ケアレジデンス楽々園)
TEL 082-943-7088 (ヘルパーステーション) FAX 082-943-8588 (共通)

周辺地図



あとがき

柔らかな日差しに包まれる春の訪れとともに一陽会にも新たな仲間が加わりました。新任医師や新入職員を迎え、組織が明るい雰囲気になれるなか、各部署では診療や業務の手順を改めて確認しながら、お互いに声を掛け合い、より良い医療を届けるよう準備を進めています。◆さて、本文でも紹介しました通り、一陽会クリニックは楽々園への移転を予定しております。超高齢社会が進展する中、外来透析・入院・在宅医療を同一拠点で提供する体制は透析患者さんにおける地域包括ケアシステムの実現に向けた大切な機能を担います。診療だけでなく、日々の生活支援を含め継続的な関わりを持つことは患者さんのQOLの維持・向上に大きく寄与するものと考えます。◆これまで旭園で培ってきた「信頼と安心」を礎としながら、新たな環境においても医療と介護の切れ目ない連携を強化し、安全で質の高い療養環境の整備に努めてまいります。今後も地域の皆さまに長く寄り添い、安心してご利用いただける存在であり続けるために、職員一同、研鑽を重ねてまいります。(K.I)

一陽会広報誌
あさひ



題名「はなすずめ」

撮影：臨床検査科 齋藤憲治

Contents

1. 新任医師ご紹介
2. オンライン診療を開始しました
3. Series 連携医療機関のご紹介
「いしうちファミリークリニック」
4. 新入職員紹介
5. 第34回 中国腎不全研究会
6. 第51回 広島県病院学会
7. 一陽会クリニック移転のお知らせ
8. Column いきいきさん
9. Series 健康レシピ

一陽会 基本理念

- 愛 愛情ある奉仕の心を以て地域医療・介護に貢献します。
- 和 和衷協同して技術の向上と人格の形成に努めます。
- 誠 誠心と創意工夫を以てその職責を全うします。
- 一陽会では、「愛・和・誠」を是訓と定め、その理念に基づいた組織づくりを行っています。

発行 一陽会広報委員会

〒731-5134 広島市佐伯区海老山町7番10号
TEL 082-923-5161 (代) FAX 082-921-8035
ホームページ <https://www.icy.or.jp> E-mail info@icy.or.jp (一陽会 DX推進室)
ご意見ご質問があれば上記の一陽会DX推進室までご一報ください。

新任医師ご紹介 4月より新しく就任した3名の医師をご紹介します。



内科/腎臓内科 **安藤 春香** 医師 岡山大学 医学部(2022年卒)

本年度より原田病院で勤務させていただきます腎臓内科の安藤と申します。岡山大学を卒業後、呉共済病院で初期研修を経て県立広島病院で勤務してまいりました。腎臓の病気は長く付き合っていくことも多いため、病状だけでなく日々の生活やご不安にも目を向け、気軽に相談していただける雰囲気づくりを大切にしております。分かりやすい説明と丁寧な診療を心がけ、患者さんに安心して通院していただけるよう努めてまいります。まだまだ未熟な点も多いかと存じますが、地域の皆さまのお役に立てるよう精進して参りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



内科/腎臓内科 **岡本 まどか** 医師 川崎医科大学(2022年卒)

今年度から一陽会原田病院で勤務させていただいております 内科の岡本まどかと申します。専門科は腎臓内科になります。出身は三重県、大学は岡山県ですが、いろいろご縁があり広島県へ移動し5年目になります。休日は飼い猫とゆっくり過ごしてリフレッシュしております。まだまだ慣れないことも多く、壁にぶつかる毎日ですが、暖かい人達に囲まれながら多くのことを学び、日々精進しております。広島県の医療に少しでも貢献できるよう日々頑張っておりますので、よろしくお願いいたします。



内科/腎臓内科 **渡邊 孟** 医師 広島大学 医学部(2022年卒)

本年度4月より原田病院で勤務させていただきます腎臓内科の渡邊孟と申します。県立広島病院で2年間の初期研修を経て、広島大学腎臓内科に入局し、その後、呉共済病院で2年間研修して参りました。私自身の実家が五日市にございますため、このような形で地元に戻ってきて、医療者として貢献できますことに喜びを感じております。専門は腎臓内科ですが、内科全般に強い医師となることが目標です。ここ原田病院では、透析関連はもちろん、幅広く内科診療もしておりますので、一人一人の患者さんにしっかりと向き合っていく中で、自身の成長に繋げ、目標の医師像に到達できるように精進して参りたいと思います。まだまだ至らぬ点も多いかと思いますが、少しでも皆様のお役に立つことができるように尽力して参りますので、ご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

オンライン診療を開始しました(イーストクリニック)

イーストクリニックではこのたび、スマートフォンを利用して、ご自宅などのプライベートな場所から医師の診察を受けることができる「オンライン診療」を開始しました

オンライン診療とは、ビデオ通話などの通信機器を活用し、医師が診察や健康相談を行う新しい診療スタイルです。通院が難しい方や遠方の方、お仕事等で来院のお時間が取りづらい方にも利用しやすい医療サービスです。

【オンライン診療のメリット】

- 負担軽減 : 通院に伴う移動時間や待合室での待ち時間が軽減できます。
- スマートフォンで完結 : 予約から支払いまで、スマートフォンでシームレスに利用できます。
- お薬もスムーズ : 当院から薬局へ処方箋をFAX送信するため、来院することなく薬局でお薬を受け取れます。(配送対応が可能な薬局もあります)

【ご利用の流れ】

- 1. 予約**
専用アプリでアカウント登録後、希望日時を予約
- 2. 診察**
スマートフォンを用いて医師とビデオ通話
- 3. 会計**
クレジットカードでお支払い
- 4. 受取**
指定の薬局でお薬を受け取り

【ご利用にあたっての注意点】

- オンライン診療は再診の方が対象となります。
- 適切な診断のため、3か月に1回は対面診療が必要です。
- 症状によっては、医師の判断により対面診療へ切り替える場合があります。

今後も、患者さんの病状や生活状況に寄り添った、安心できる診療体制の充実に努めてまいります。

イーストクリニック 事務課 黒木 美代子



Series

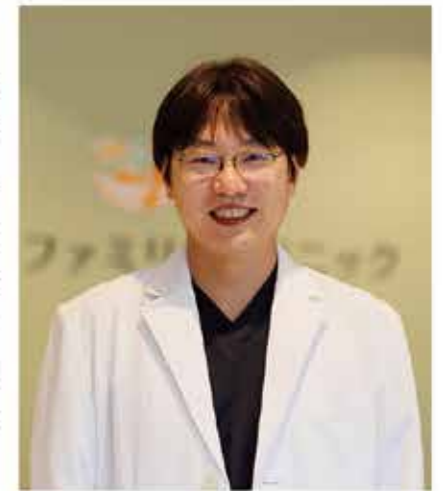
連携医療機関のご紹介 いしうちファミリークリニック (広島市佐伯区五日市町)

地域に寄り添うかかりつけクリニックを目指します

いしうちファミリークリニックは、2025年10月に開院した地域のかかりつけクリニックです。小児から高齢の方まで幅広く対応し、風邪や腹痛などの身近な症状から、予防接種、健康診断、生活習慣病の管理まで、日々の健康を支えています。また、通院が難しい患者さんには訪問診療を行い、ご自宅で安心して療養できるよう支援し、在宅でのお看取りにも対応しています。必要に応じて一陽会原田病院をはじめとする医療機関と連携し、検査や専門的な治療、入院が必要な際にもスムーズにつながる体制を大切にしています。これからも地域の皆さまが住み慣れた場所で安心して過ごせるよう、切れ目のない医療を目指してまいります。



いしうちファミリークリニック
院長 小林 知貴



- 所在地 〒731-5102 広島市佐伯区五日市町大字石内6782-1
TEL:082-299-7555 FAX:082-299-7551
- 診療科目 内科・小児科・外科
- 診療時間 9:00~12:00(土曜日は13:00まで)
13:00~16:00(訪問診療のみ 月曜日は15:00~16:00 小児の予防接種・健診)
16:00~17:30
- 休診日 木・土曜日午後、日曜日、祝日
- 駐車場 多数あり



新入職員紹介 新しい仲間が加わりました

さまざまな経験と思いを胸に、この場所から一緒にスタートを切りました。患者さんの日々の暮らしと医療を支えるチームの一員として、それぞれの一歩が、今はじまります。これからの成長をどうぞ温かく見守りください。



第34回 中国腎不全研究会

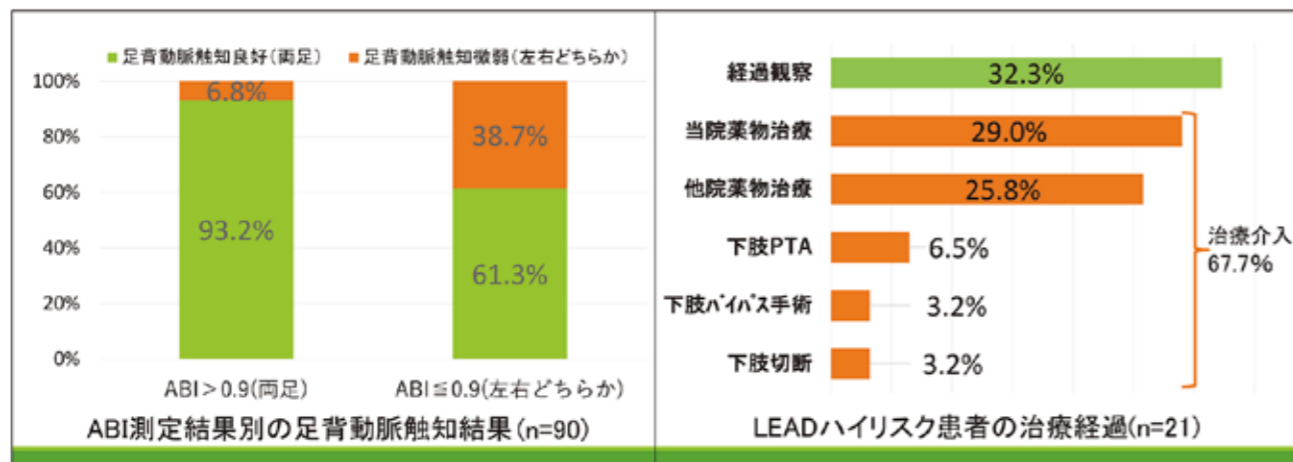
2025年11月30日(日)広島で開催された、第34回 中国腎不全研究会で、5演題(医師2演題、看護師2演題、臨床工学技士1演題)の研究発表を行ってまいりました。その中の1演題「A病院血液透析外来の下肢閉塞性動脈疾患ハイリスク患者の現状と課題」をご紹介します。

A病院血液透析外来の下肢閉塞性動脈疾患ハイリスク患者の現状と課題 ～足関節上腕血圧比測定後の経過を分析して～

医療法人一陽会 原田病院 看護部¹⁾ 人事部²⁾ 医局³⁾

○荒神 良太¹⁾、今田 美紀¹⁾、福馬 美保¹⁾、松村 佳江¹⁾、宮本 弘美¹⁾、新田 千恵美²⁾、
土井 俊樹³⁾、水入 苑生³⁾、山下 和臣³⁾、西澤 欣子³⁾

- 【目的】** A病院の血液透析(HD)外来患者の足関節上腕血圧比(ABI)・足背動脈触知結果と下肢閉塞性動脈疾患(LEAD)ハイリスク患者(ABI \leq 0.9)の現状と今後の課題を検討した。
- 【方法】** 2025年3月31日時点でA病院に3年以上在籍し、2025年6月1日に通院継続中で、2022年4月1日～2025年3月31日にABI測定したHD患者を対象とした。ABI値・足背動脈触知結果とハイリスク患者の経過を分析した。
- 【結果】** 対象は90名のHD患者で、平均年齢70.7 \pm 11.3歳。ハイリスク患者は34.4%、その内61.3%がABI測定時に足背動脈触知良好であった。ハイリスク患者の経過は、67.7%が内科的又は外科的治療を受け、32.3%は経過観察であった。経過観察患者の症状の経過や治療方針は医師とスタッフで共有できていなかった。
- 【考察】** 我が国における透析維持期のLEAD合併頻度は37.2%(2022年末梢動脈疾患ガイドライン)で、本調査結果の34.4%と近い値であった。ハイリスク患者の約7割に治療介入していたが、ハイリスクであっても足背動脈触知良好者は約6割おり、定期的なABI測定が重要であり、経過観察患者の症状の経過や治療方針を共有できる体制構築が重要である。
- 【結論】** ハイリスク患者の約7割に治療介入していたが、経過観察中の患者に対する定期的なABI測定及び治療方針のチーム内共有体制の構築が課題である。



【その他研究発表】

療法選択を再度行い、マージナルドナーからの生体腎移植に至った一例

○森本 恵美、札幌 保宏、枝廣 建、藤田 綾子、沖本 昂祐、佐味 真衣、弓場 義雄、森井 健一、土井 俊樹、山下 秀樹、西澤 欣子、水入 苑生、山下 和臣

鎖骨下静脈狭窄に対して定期的にPTAを行っている一例

○澤村 大造、札幌 保宏、枝廣 建、藤田 綾子、沖本 昂祐、佐味 真衣、森本 恵美、弓場 義雄、森井 健一、土井 俊樹、山下 秀樹、西澤 欣子、水入 苑生、山下 和臣、新宅 究典、佐藤 友保、川西 秀樹

腎臓リハビリテーション継続に向けた看護師の役割 ～Aクリニック血液透析患者の透析中運動療法経験者への調査を通して～

○矢野 悠司、里 令子、手島 和子、松村 佳江、新田 千恵美、宮本 弘美、森本 恵美、荒川 哲次、碓井 公治

積層型ダイアライザを使用し栄養状態改善傾向に至った1例

○横山 裕、田中 秀人、松井 未紀、山縣 抄織、小野 亮一、鳥田 一義、小野 京香、加藤 曜子、有田 美智子

第51回 広島県病院学会

2026年2月15日(日)広島で開催された、第51回 広島県病院学会で、2演題(看護師1演題、管理栄養士1演題)の研究発表を行ってまいりました。その中の1演題「嚥下調整食の栄養強化に向けた取り組み」をご紹介します。

嚥下調整食の栄養強化に向けた取り組み

医療法人一陽会 原田病院 診療技術部¹⁾ 医局²⁾

○目次 さつき¹⁾、藤本 智恵¹⁾、藤岡 真弓¹⁾、難波江 経史¹⁾、福田 哲士¹⁾、水入 苑生²⁾、山下 和臣²⁾

- 【目的】** 日本摂食・嚥下リハビリテーション学会嚥下調整食分類2021(以下、学会分類2021)に則した嚥下調整食において栄養強化を行いつつ、厨房業務の改善を行うことを目的とした。
- 【方法】** 学会分類2021コード3(コード3)の主食はたんぱく質強化食品に変更した。副菜作成時にたんぱく質強化することを検討したが、食品ロスと作業効率のことも考えて、手製と既製を合わせた献立に変更した。コード3の副菜は従来の調理方法では食数の変動への対応力が乏しかったため、少ない食数にも対応できるように、食材の配合比を再検討した。学会分類2021コード4(コード4)相当を提供する食種の主食にはMCT(中鎖脂肪酸)オイルを加えることで、栄養強化を行った。取り組み前(2024.10~11)と後(2025.8~9)の提供エネルギー量・たんぱく質量を比較し、患者(n=7)への喫食率調査を行った。
- 【結果】** 取り組み前後での提供エネルギー量はコード3では、1390(1359 - 1451) kcal/日から1419(1398 - 1453) kcal/日(P=0.02)、コード4では1277(1241 - 1300) kcal/日から1402(1373 - 1433) kcal/日(P<0.01)となった。提供たんぱく質量はコード3では52.0(50.4 - 54.2) g/日から56.1(54.3 - 58.3) g/日(P<0.01)、コード4では52.0(49.3 - 56.6) g/日から52.3(49.0 - 58.3) g/日(P=0.77)となった。患者を対象とした喫食率の調査では、コード3では45.6%から43.1%(P=0.59)、コード4では66.8%から72.6%(P=0.84)となった。MCTオイルは主食の盛り付け時に添加したことで、配膳時間が15分増加した。コード3の下処理から配膳までには90分ほど時間がかかっていたが、既製品を取り入れたことで75分短縮でき、主食の配膳時間を捻出することができた。またコード3の副菜は、食材の廃棄量を最小限で抑えることができる配合比に調整できた。
- 【考察】** 取り組み前後の患者の摂取量にあまり差が生じていないことから、提供量は変更せずに栄養強化が可能になったと考える。また作業内容の見直しをしたことで、食品ロスの削減と調理時間の短縮が可能になったと考える。
- 【結論】** 嚥下調整食の提供量は増やさずに栄養強化を行うことができ、厨房の業務改善をすることができた。



【その他研究発表】

入院患者の排泄管理表の改善と効果

○鹿口 論理保、井上 哲也、本多 祥子、松村 佳江、新田 千恵美、宮本 弘美、水入 苑生、山下 和臣、西澤 欣子

一陽会クリニック移転のお知らせ

このたび、一陽会クリニックは、より安全で快適な医療・介護サービスを皆さまに提供するため、移転いたします。

一陽会クリニックは1996年3月、佐伯区旭園に外来透析ベッド80床を備えて開院し、今年で30年を迎えます。開院当時は家庭用パソコンが普及し始めた頃で、透析治療の条件設定には電卓を使った手作業が一般的でした。その中で当クリニックは、透析装置とコンピュータを接続した集中管理システムを導入するなど、デジタル化による安全性向上にいち早く取り組んでまいりました。

しかし、長年の運用により施設の老朽化が進んだことから、今年6月に佐伯区楽々園の「ケアレジデンス楽々園」2階へ移転いたします。移転後は、無床診療所から16床の入院設備を備えた「有床診療所」へと生まれ変わります。

新クリニックでは最大51名まで対応可能な透析室を設置し、月曜組・火曜組ともに午前・午後の2クール体制で透析治療を受けていただけます。入院透析にも対応し、より幅広い医療ニーズにお応えいたします。

また、ケアレジデンス楽々園の3～6階はこれまで通りサービス付き高齢者向け住宅として運営し、入居者の方の透析治療にも対応します。さらに、介護付き有料老人ホーム「グランホームあさひ」の機能も併せ持つ複合型施設としての運営も計画しています。現在グランホームあさひをご利用中の多くの透析患者さんにとっても、居住スペースと透析室が同じ建物内にまとまることで移動の負担が軽減され、安心して治療を受けられる環境が整います。必要に応じて一陽会クリニックへの入院治療も可能となります。

新しい一陽会クリニックは、医療・介護が一体となった複合型施設として、「いつでも・どなたでも・安心して」ご利用いただけるよう、スタッフ一同、より一層のサービス向上に邁進してまいります。皆さまの声を大切にしながら、共に歩む医療・介護を目指してまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

血液浄化部 部長 烏田 一義



Column

いきいきさん

2病棟 看護師
山根 正美



これまでの歩みを力に変え、患者さんに寄り添う安心の看護をお届けします

原田病院に入職し、看護師として14年勤務しています。私は26歳で看護師の道を目指しましたが、それ以前はバスガイドとして多くの人と関わる仕事をしていました。

入職後は病棟で約10年間勤務し、看護の基本や観察力、看護実践について学びました。その後、訪問看護へ異動し約2年間、在宅看護に携わりました。

利用者さんの生活の場で関わることで、患者さんの立場に立った看護や個性性を重視する大切さを学び、多職種と連携して支え合う重要性についても実感することができました。

現在は再び病棟で勤務しています。これまでの経験を活かし、患者さんに寄り添い安心して療養できる看護を提供できるよう、今後も精一杯頑張っていきたいと思います。



Series

健康レシピ タンドリーチキン



家庭にある調味料で簡単に作ることができるタンドリーチキン。カレー粉にはターメリックやクミンが含まれており、抗酸化作用によって、細胞の老化・酸化ストレスを防ぐことで、免疫力を向上させます。また、消化促進の効果もあり、食欲がない時でも、塩分控えめでおいしく食べることができます。ヨーグルトは腸内環境を整え、便秘改善や免疫力UPといった効果があります。ヨーグルトを使うことで、鶏むね肉でもしっとり柔らかく作ることができますので、お試しください。

エネルギー：156Kcal / たんぱく質：10.9g / 脂質：11.8g / 塩分：0.6g

《材料(4人分)》

鶏もも(皮付)	240g
塩	1.2g(小さじ1/5)
こしょう	少々
おろしにんにく	1.2g(小さじ1/4)
ケチャップ	36g(大さじ2)
カレー粉	2g(小さじ1)
無糖ヨーグルト	30g(大さじ2)

《作り方》

- 鶏肉を食べやすい大きさに切り、塩とこしょうで下味をつける。
- ①に調味料Aを加えてもみ込み、2時間以上寝かせる。
- 220℃のオーブンで20分ほど焼く。

管理栄養士 目次 さつき